

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は卒研生または卒業生

学会名	第56回日本植物生理学会
演題名	シロイヌナズナ花茎切断処理に応答する植物ホルモン関連遺伝子の発現解析
発表者	松岡啓太、湯本絵美、奥川大樹※、齋藤朴※、中原陽平※、横田孝雄、 <u>山根久和</u> 、佐藤忍、○朝比奈雅志（※H26年度卒研生）（植物生理学研究室）
内容	これまでに我々は、シロイヌナズナの花茎を部分的に切断すると、主として髄組織の細胞が切断3日後から細胞分裂を開始し、約7日間で癒合することを報告している。本研究では、シロイヌナズナ花茎を切断した直後から24時間以内に生じる植物ホルモン関連遺伝子の発現について検討した。その結果、ANAC071とRAP2.6L遺伝子は、切断処理3時間以内に切断部位において発現が誘導されるなどといった新たな事実が判明した。これらの結果は、H26年度の卒業研究、及び学内外共同研究によって得られたものである。